

家畜衛生だより

令和2年6月発行

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
〒996-0002 新庄市金沢字大道上 2034
TEL0233-29-1357
FAX0233-23-2944

万全な暑熱対策で家畜を守りましょう！！

～牛編～

6月4日に仙台管区気象台から発表された向こう1か月の天候の見通しによると、かなりの高温となることが予想されています。以下の点に注意し、暑い夏を乗り切りましょう。

《環境対策》



○ 熱をさえぎる

- ・ 屋根に散水する
- ・ ひさし、遮光ネット、グリーンカーテンを利用する
- ・ 屋根・壁・床への断熱材の設置や石灰等の塗装を行う

○ 熱を逃がす

- ・ 窓の開け閉め、換気扇や送風機を回す
- ・ 牛の体に散水する、毛刈りをする
- ・ 密飼いを避ける

屋根への石灰塗布で屋根裏温度が約15℃低下、舎内温度が約5℃低下したという報告があります。(宮崎県の農家)



ネットに植物を這わせる



管内乳用牛牛舎のドロマイト塗布



《飼養管理》

○ 栄養管理

- ・ 食塩、重曹、ビタミン、ミネラルを補給する
- ・ 冷たく新鮮な水をたっぷり飲めるようにする
- ・ 飼料の品質劣化に注意する
- ・ 涼しい時間帯に飼料給与し、給与回数を増やす

★暑熱時の牛の管理のポイント★

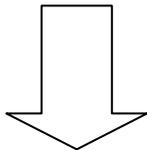
◇◇◇乳牛で25℃以上、肉牛で30℃以上になると要注意！◇◇◇

- ・ 泌乳牛、特に高泌乳牛は乾乳牛に比べて、より多くの熱が体内で発生されるので熱射病になりやすくなります。
- ・ 密飼い、分娩前後、肥満、基礎疾患があると重い熱射病を起こしやすくなります。

➡これらのハイリスク牛は、涼しい場所へ移動しておきましょう！

《次の症状を認めたら対策を！》

- ・ 飼料の食込み量の低下（残飼の増加）
- ・ 目の充血、ひどいよだれ、あらい呼吸



- ・ 四肢から胸へと徐々に水をかける
- ・ 送風して体を冷やす
- ・ 診察を受ける



暑熱の影響は秋以降まで続きます

大切な家畜の夏バテ防止のために、是非再確認しましょう！

家畜に異常を認めた時には、家畜保健衛生所までご一報ください

電話番号 0233-29-1357

上記電話番号で24時間対応しています！